

2015年7月11日 (土) 13:30~17:30

A.T. Kearney Global Cities Index

City	2015 Score	2015 Rank	2008 Rank
New York	63.1	1	1
London	60.1	2	2
Paris	52.9	3	3
Tokyo	46.3	4	4
Hong Kong	43.1	5	5
Los Angeles	38.8	6	6
Chicago	37.8	7	8
Singapore	37.6	8	7
Beijing	35.2	9	12
Washington	34.2	10	11
Seoul	33.7	11	9
Brussels	32.9	12	13
Toronto	32.7	13	10
Moscow	32.4	14	19
Sydney	31.9	15	16
Madrid	31.7	16	14
Berlin	30.9	17	17
Vienna	30.5	18	18
Melbourne	29.6	19	-
Buenos Aires	29.3	20	33

メガシティ作りを競うアジア諸国。東京は、欧米で大都市が出現したのとほぼ同じ時期にメガシティとなり、経済成長にともなって直面した交通混雑、水不足、大気や水質汚染、住宅不足等を次々に克服してきました。東京の経験と現状・課題を整理し、日本とアジアのメガシティの将来を探ります。



主催 日本学術会議
企画 第一部国際協力分科会
後援 日本経済学会
日本都市社会学会
東京都環境科学研究所
政策研究大学院大学
一橋大学大学院社会学研究科

開会挨拶 杉原 薫 日本学術会議第一部会員、政策研究大学院大学特別教授
問題提起 青木 玲子 日本学術会議第一部会員、九州大学理事・副学長

講演

町村 敬志 日本学術会議第一部会員、一橋大学大学院社会学研究科教授
「メガシティ東京の過去・現在・未来ー都市比較から考えるー」

梅溪 健児 政策研究大学院大学教授
「進展する東京集中と経済成長の特徴」

瀬古 美喜 日本学術会議連携会員、武蔵野大学経済学部教授
「地震リスクと防災政策ー日本の住宅市場と家計行動の観点よりー」

市橋 新 東京都環境科学研究所主任研究員
「気候変動適応策ー持続可能でレジリエントな都市に向けてー」

司会 山本 真鳥 日本学術会議連携会員、法政大学経済学部教授

パネル・ディスカッション

青木 玲子 (司会) ・町村 敬志・梅溪 健児・瀬古 美喜・市橋 新

丸川 知雄 東京大学社会科学研究所教授

中野 聰 日本学術会議連携会員、一橋大学大学院社会学研究科教授

閉会挨拶 広渡 清吾 日本学術会議前会長・連携会員、専修大学法学部教授

アジアのメガシティ 東京 その現状と日本の役割

場所：
日本学術会議講堂

地下鉄千代田線 乃木坂駅前

